

令和6年度
社会福祉法人 尚生会
事業実績報告書

〒309－1611

茨城県笠間市笠間1 6 3 5 - 2

TEL 0 2 9 6 － 7 3 － 5 5 6 2

FAX 0 2 9 6 － 7 3 － 5 5 6 3

URL <http://www.shoseikai.com>

< 目 次 >

1. かさまグリーンハウス拠点	1
2. グリーンハウスみと拠点	6
3. グリーンハウスひたちなか拠点	15
4. ケアハウスかさま拠点	26
5. グリーンハウスともべ拠点	35
6. グリーンハウスとちぎ拠点	37
7. グリーンハウス陣屋拠点	42
8. グリーンハウスおおつか拠点	46
9. 訪問看護みと拠点	48
10. 法人本部	50

令和6年度 事業実績報告書

特別養護老人ホームかさまグリーンハウス

要介護度別入所者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	3	3	4	2	12
女	1	4	14	9	10	38
計	1	7	17	13	12	50
平均介護度	3.7					

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	1	2	6	3	0	12
女	0	1	3	16	11	7	38
計	0	2	5	22	14	7	50

	最高	最低	平均
男	93	69	83.0
女	99	69	88.5
全体	99	69	87.2

市町村別利用者状況

	笠間市	筑西市	城里町	真岡市	江戸川区	合計
男	11	0	1	0	0	12
女	34	1	1	1	1	38
計	45	1	2	1	1	50

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	1	0	2	2	1	3	3	12
女	0	2	4	5	2	14	6	1	4	38
計	0	2	5	5	4	16	7	4	7	50

認知症高齢者の日常生活自立度

	認知症無	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	0	1	1	0	5	0	3	2	12
女	0	1	1	0	15	8	13	0	38
計	0	2	2	0	20	8	16	2	50

余暇活動状況

内 容	実施回数	内 容	実施回数
個別ケア	12	誕生会/レクリエーション	12

ボランティア受入状況

参加人数	内 容
7	そば打ち

会議・委員会

内 容	実施回数	実施内容
職員会議	12	ケース検討、行事検討、サービス向上、勉強会
リーダー会議	12	入所検討委員会
虐待防止委員会	12	利用者の人権擁護・虐待防止のための対策 虐待防止に関わる勉強会及び研修会
身体拘束委員会	12	身体拘束禁止に対する共通認識をもち、拘束をなくす取組み 身体拘束防止に関わる勉強会及び研修会
褥瘡委員会	8	褥瘡(予防)に係る検討・評価
サービス担当者会議/安全対策委員会	12	介護サービス計画の作成・評価、安全対策検討
認知症チームケア推進委員会	12	認知症の行動、心理症状の対応及び取組みについて振り返り
感染症対策	7	感染症防止の為に指針整備、平常時対策と発生時対応整備、 職員及び入所者に対し安全かつ衛生的な職場環境整備
給食会議	12	喫食状況・献立・調理内容の確認、調理員会議

研修報告

参加者	内容
枝川 庄五/鈴木美由紀/鈴木由美子/屋岡 純/関千春	BCPIにおける研修(オンライン)
枝川 庄五/鈴木美由紀/鈴木由美子	BCPブラッシュアップ研修(オンライン)
枝川庄五/鈴木美由紀	LIFE研修会(オンライン)
枝川庄五	安全運転管理者等講習(オンライン)
屋岡 純/関 千春	安全対策担当者養成研修(福祉会館)
枝川庄五/鈴木美由紀	外国人定着のための研修(オンライン)
枝川庄五	介護事業所の雇用管理者講習会(オンライン)
枝川庄五/鈴木美由紀	笠間市外国人受入支援事業について(笠間市役所)
秋山美奈子	管理栄養士 第3ブロック研修会(ひたちなか総合病院)
屋岡 純/関 千春/小藺江純平/堀田明生	虐待防止・身体拘束防止について(オンライン)
鈴木美由紀/鈴木由美子/屋岡 純/関 千春/秋山美奈子	業務改善・生産性向上について(オンライン)
枝川庄五	計算書類の見方と事務分析のすすめ方(オンライン)
枝川 庄五/鈴木美由紀/屋岡 純/関千春	個人情報保護について(オンライン)
鈴木由美子	施設内感染症対策研修会(茨城県健康プラザ)
枝川庄五	生産性向上セミナー(茨城県立歴史館)
枝川庄五	都道府県経営協セミナー(水戸京成ホテル)
ジョシプラカシュ/仲田結弥	認知症介護基礎研修(オンライン)
平野彩里	認知症介護実践者研修(オンライン)
枝川庄五/鈴木美由紀/小藺真実/森田理恵	認知症チームケア推進加算対応研修(オンライン)
屋岡 純/小藺真実	バーゼルインデックス評価研修(オンライン)
枝川庄五/鈴木美由紀	ハラスメント研修(オンライン)

鈴木美由紀/昼岡 純/関 千春	マナー・接遇についての研修(オンライン)
小葉真実/森田理恵	レビー小体型認知症サポートネットワーク研修(オンライン)
飯村竜也/仲見川レオニダ/仲田結弥/川上裕美	移動・移乗技術と介護事故防止対策(オンライン)

地域貢献事業

参加者	場 所	内 容
鈴木美由紀/昼岡 純	笠間小学校	介護体験

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	7	5	6	9	10	10	7	9	8	9	6	6	92
介護事故	6	3	5	7	8	9	6	8	7	7	4	4	74

職員勉強会

延参加人数	内容	延参加人数	内容
40	感染症対策基本的知識等(年6回)	24	身体拘束防止(年3回)
16	事故防止リスクマネジメント(年2回)	28	虐待防止(年2回)
32	感染症・災害シミュレーション(各年2回)	12	プライバシー保護と法令順守について
10	ハラスメントについて	20	認知症ケアについて

特別養護老人ホーム 稼働状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	月平均	95%	95%	95%	95%	95%	95%	95%	95%	95%	95%	95%	95%	95%
実績	月平均	95%	89%	94%	92%	82%	92%	96%	95%	97%	97%	95%	96%	94%

短期入所生活介護 稼働状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	月間総数	285	295	285	295	295	285	295	285	295	295	266	295	3,471
	1日平均	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.2	9.5	9.5
実績	月間総数	345	360	306	279	255	295	278	293	294	282	233	265	3,485
	平均	11.5	11.6	10.2	9.0	8.2	9.8	9.0	9.8	9.5	9.1	8.3	8.5	9.5

総括

【入所】

高齢化及び病状の悪化により入院者が多い状況であったが、介護と看護及び医療機関との連携を図り異常の早期発見・早期受診の対応により長期入院等による空床は防ぐ事ができた。今後も職員一人ひとりが知識及び技術の向上に努め入所者の健康管理に努める。

【短期入所】

感染症対応のため、7月～8月は一時的に受入れを制限。9月以降、感染対策を徹底した上で緊急依頼に対して空床ベッドを活用する等の柔軟な受け入れを行った。短期入所利用者においても、高齢化や認知症の重度化により施設入所や入院となるケースが増えており、今後も各関係機関連携を図り安定した稼働に繋げられるよう努める。

令和6年度 事業実績報告

認知症対応型通所介護 かさまグリーンハウス

要介護度別利用者状況

要介護 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	3	0	0	0	0	3
女	3	5	6	3	3	20
計	6	5	6	3	3	23
平均介護度	2.6					

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	3	0	0	0	0	3
女	2	0	2	2	4	3	4	3	20
計	2	0	2	5	4	3	4	3	23

年齢 性別	最高	最低	平均
男	93	69	75.3
女	98	69	88.5
全体	98	69	85.4

会議

	実施回数	延人数	内容
通所職員会議	12	72	個別支援、業務連絡、伝達事項
安全対策会議	12	72	安全対策
運営推進会議	2	16	事業実績報告、事業計画、介護報酬改定

研修報告

参加者	内 容
成田留美子/綿引喜代子/友常春美/堀仁美 加倉井美栄子/青木玲子	移動・移乗技術と介護事故防止対策(オンライン)
成田留美子/綿引喜代子/友常春美/堀仁美 加倉井美栄子/青木玲子	入浴介助について(オンライン)
藺部浩美/成田留美子	バーゼルインデックス評価研修(オンライン)
成田留美子/綿引喜代子/友常春美/堀仁美、 加倉井美栄子/青木玲子	認知症について(オンライン)
藺部浩美	個人情報(プライバシー)保護について(オンライン)
藺部浩美	虐待防止及び身体拘束適正化(オンライン)

成田留美子/綿引喜代子/友常春美/堀仁美 加倉井美栄子/青木玲子	高齢者の権利擁護について(オンライン)
藺部浩美	BCPIにおける研修(オンライン)
藺部浩美	BCPブラッシュアップ研修(オンライン)
藺部浩美	LIFE研修会(オンライン)

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	1	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0	0	7
介護事故	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3

職員勉強会

延人数	内 容	延人数	内 容
72	各委員会について	72	身体拘束廃止(身体拘束適正化委員会)
37	感染症対策基本的知識と理解(年間6回)	14	BCP策定 防災 感染症について
18	認知症高齢者の尊厳について	72	不適切事例(虐待防止委員会)

通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
年間目標	235	246	214	246	203	225	246	225	225	214	214	225	2,718
年間実績	207	220	180	178	149	203	197	184	177	151	148	195	2,189
1日平均	9.4	9.6	9.0	7.7	7.8	9.7	8.6	8.8	8.4	7.6	7.4	9.3	8.6

総括

稼働状況は年間を通して、施設入所及び短期入所の併用利用や体調不良による入院者数が多く利用継続に繋がらず減少。7月、8月には併設特養のクラスターの影響もあり、受入れを一時的に制限したが感染症に注意しながら、週1回の定期的な行事及びイベントを開催し全利用者が参加できるよう取り組んだ。

家族に対しては、認知症状に関する相談に対する助言等を行うことで、少しでも介護負担の軽減に繋がれるような対応を行った。

今後も職員一人ひとりが認知症に対する知識を高め、利用者一人ひとりの在宅生活が継続出来るような支援に努める。

令和6年度事業実績報告書

特別養護老人ホームグリーンハウスみと

要介護度別入所者状況

要介護 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	2	12	10	1	25
女	1	1	34	25	4	65
計	1	3	46	35	5	90
平均介護度	3.7					

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	2	5	2	9	5	2	25
女	0	1	2	1	9	14	17	21	65
計	0	1	4	6	11	23	22	23	90

年齢 性別	最高	最低	平均
男	96	71	83.5
女	104	66	85
全体	104	66	84.3

市町村別利用者状況

市町村 性別	水戸市	ひたちなか市	大洗町	東海村	笠間市	鉾田市	常陸大宮市
男	21	2	1	0	0	1	0
女	45	5	8	1	1	0	1
計	66	7	9	1	1	1	1

市町村 性別	北茨城市	常陸太田市	茨城町	上三川	合計
男	0	0	0	0	25
女	1	1	1	1	65
計	1	1	1	1	90

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立 度 性別	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	0	6	4	7	6	2	0	25
女	0	1	2	7	15	15	22	1	2	65
計	0	1	2	13	19	22	28	3	2	90

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度 性別	認知症無	I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	M	合計
男	3	2	4	6	6	1	3	0	25
女	15	4	3	12	15	6	9	1	65
計	18	6	7	18	21	7	12	1	90

余暇活動状況

内 容	実施回数	延人数	内 容	実施回数	延人数	内 容	実施回数	延人数
苗植え	1	19	クリスマス会	2	54	節分	1	20
敬老会	5	85	お正月行事	2	60	ひな祭り	1	20
収穫祭	1	40	バレンタインデー	1	20			

会議・委員会

内 容	実施回数	延人数	実施内容
リーダー会議	12	156	ユニット目標の達成報告、業務改善検討
ユニット会議	12	276	ケース検討会、ヒヤリハット事故報告
リーダー小会議	12	103	スケジュール確認、リーダーからの報告事項
安全対策会議	23	115	事故分析について、事例による再発防止検討会
給食委員会	12	156	食事についての要望や問題点及び改善点
入所検討委員会	4	39	入所順位と新入所者検討
身体拘束適正化委員会	12	156	身体拘束の見直し及び解除検討、権利擁護
感染症対策委員会	12	156	感染症の知識について、標準予防策
高齢者虐待防止委員会	4	156	高齢者虐待防止に関する研修会、訓練

研修報告

参加者	内容
岩間 裕美子	これからの栄養士・管理栄養士に期待すること(サ・ヒロサワ・シティ会館)
岩間 裕美子	多職種連携スキルアップ研修会(茨城県市町村会館)
井坂 龍一	接遇マナー研修Bコース(福祉会館)
梅井 正道	介護現場で役立てる 心理的安全のつくり方(オンライン)
岩間 裕美子	茨城県栄養士会(茨城県衛生会館)
磯崎 理恵	高齢者権利擁護推進委員会研修(オンライン)
梅井 正道	労務管理とコンプライアンス(オンライン)
梅井 正道/池田 翔太郎	災害セミナー研修会(水戸市福祉ボランティア会館)
小山 啓雅	ビジネス文書の基本を学ぶ(福祉会館)
平塚 真樹子	虐待防止研修(福祉会館)
大野 健一郎	生産性向上セミナー(オンライン)
梅井 正道	施設長、管理者研修(福祉会館)

大野 健一郎	業務改善力向上研修(福祉会館)
西村 明美	カスタマーハラスメント対策セミナー(オンライン)
磯 ゆかり/磯崎 理恵/田中 せい子	心不全ケアにおける心不全療養指導士の重要性(オンライン)
田所 園美	摂食嚥下についての基礎知識(保健衛生会館)
大野 健一郎	介護人材定着研修(全国老人福祉施設協議会会議室)

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	45	54	40	56	42	55	51	28	25	32	54	35	517
介護事故	5	6	9	13	8	13	8	11	9	10	9	9	110

職員勉強会

延人数	内容	延人数	内容
55	事故防止リスクマネジメント①	53	事故防止リスクマネジメント②
51	感染症対策について①	48	感染症対策について②
54	BCP業務継続計画「自然災害」について①	52	BCP業務継続計画「感染症」について②
46	高齢者の尊厳について①(身体拘束・虐待・権利擁護)	44	高齢者の尊厳について②(身体拘束・虐待・権利擁護)
41	認知症について(家族の心理)	56	感染症対策シュミレーション

短期入所生活介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	285	295	285	295	295	285	295	285	295	295	266	295	3,471
平均	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5
実績	343	325	302	339	386	333	303	359	355	342	337	346	4,070
平均	11.4	10.5	10.1	10.9	12.5	11.1	9.8	12.0	11.5	11.0	11.6	11.2	11.1

総括

感染症に関して、2月末頃より一町でノロウイルス発生。保健所のアドバイスをもとに、感染症対策委員会が中心となり施設内での感染症対策を徹底したことにより、施設内感染拡大もなく終息することができた。また面会に関して、直接面会を継続することができており、顔を合わせることで施設と家族との交流、繋がりが戻ってきている。今後も、入所者の日々の安心した生活を守る為に、介護と看護、協力医療機関とも連携を図り、健康管理に努める。

【特養】入所者の状況について協力医療機関と連携を図ることで、スムーズな受診対応や医師からの適切な診療を受けられ、健康維持に繋がれた。入院の際も、定期的に入院状況確認、状態把握をすることで退院受入をスムーズに行うことができた。令和7年度より法人内の医療機関が嘱託医となる為、引続き情報共有を行い入所者の健康管理に取り組む。

【短期】体調不良等で在宅での生活が難しくなった方や緊急相談へ対応したことにより、多くの新規利用者を獲得することができ、介老入居者の空き居室を有効活用することにも繋がれた。水戸市からの生活管理指導短期宿泊事業の利用依頼にも柔軟に対応。今後も様々な方面からの依頼の声に耳を傾け、短期入所生活介護の役割を果たす。

令和6年度 事業実績報告書

通所介護センターグリーンハウスみと

要介護度別利用者状況

要介護 性別	事業 対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	1	3	3	2	5	0	14
女	0	0	4	16	12	1	1	1	35
計	0	0	5	19	15	3	6	1	49
平均介護度	2.0								

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	1	2	2	3	4	1	1	14
女	0	0	0	2	4	15	13	1	35
計	0	1	2	4	7	19	14	2	49

年齢 性別	最高	最低	平均
男	96	69	82
女	96	76	88
全体	96	69	86

会議

	実施回数	延人数	内容
スタッフ会議	12	88	業務内容の見直し、利用者情報の共有
安全対策会議	12	88	事故の分析、再防止検討

研修報告

参加者	内容
片岡 美智子	看護実務者研修(茨城県看護協会)
清水 孝一	水戸市集団指導及び介護保険セミナー(オンライン)
清水 孝一	地域ケア連絡会議(稲荷第一市民センター)
清水 孝一	地域ケア個別会議(稲荷第一市民センター)
清水 孝一	常澄圏域地域ケア連携会議(稲荷第一市民センター)

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
介護事故	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	8

職員勉強会

延人数	内 容	延人数	内 容
8	高齢者の尊厳について①	7	業務継続計画・BCPについて(災害時)
8	介護予防及び要介護度進行予防について	7	業務継続計画・BCPについて(緊急連絡)
8	業務継続計画・BCPについて(感染症)	6	高齢者虐待防止について②
8	感染症対策について(新型コロナ)	8	感染症対策について(ノロウイルス)
6	ハラスメントについて	8	プライバシーの保護について
6	感染症対策について(感染症対策)	9	車椅子対応車両操作確認(新車)

通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	520	540	500	540	480	500	540	520	500	480	480	520	6,120
実績	511	522	525	562	499	509	567	498	514	476	485	536	6,204
1日平均	19.7	19.3	21.0	20.8	20.8	20.4	21.0	19.2	20.6	19.8	20.2	20.6	20.3

総括

令和6年度は「自事業所以外の居宅介護支援事業所の新規開拓」「キャンセル者の振替利用促し」「体験者の率先した受け入れ」に取り組んだ事により前年度の過去最低の稼働率を脱出し、良い実績を残す事ができた。

令和7年度に向けて同対応を継続。

課題としては、転倒や体調不良による入院者が増大した件について、利用者及び家族に対し転倒時のリスク、健康管理の重要性について伝えることで、キャンセル者の減少に繋げる。

令和6年度 事業実績報告書

居宅介護支援事業所グリーンハウスみと

居宅介護支援、介護予防支援利用者数

地区	延人数	地区	延人数
水戸市	1,207	常陸太田市	12
大洗町	103	支援(水戸市)	394
ひたちなか	115	支援(ひたちなか)	25
東海村	19	合計	1,875

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	2	7	17	13	9	7	1
女	7	22	26	29	8	4	3
計	9	29	43	42	17	11	4
平均介護度				1.4			

年齢別利用者構成

	64歳以下	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	90歳以上
男	5	1	5	10	9	9	8
女	1	0	3	8	13	14	31
計	6	1	8	18	22	23	39

	最高	最低	平均
男	99	54	76
女	97	62	79
全体	99	54	77

会議等参加状況

参加者	内容
大木勝之/永田礼子/関沢恭鷹/沼田由美子	地域ケア連絡会議(稲荷第一市民センター)
大木勝之/永田礼子/関沢恭鷹/沼田由美子	地域ケア個別会議(稲荷第一市民センター)
大木勝之/永田礼子/関沢恭鷹/沼田由美子	常澄圏域地域ケア連携会議(年間5回)(稲荷第一市民センター)

研修報告

参加者	内容
永田礼子/関沢恭鷹	第一回水戸市介護支援専門員支援事業研修会(茨城県市町村会館)
関沢恭鷹/沼田由美子	第二回水戸市介護支援専門員支援事業研修会(オンライン)

永田礼子	第三回水戸市介護支援専門員支援事業研修会(茨城県市町村会館)
関沢恭鷹/沼田由美子	第四回水戸市介護支援専門員支援事業研修会
永田礼子/関沢恭鷹/沼田由美子	適切なケアマネジメント手法の理解と活用(上大野市民センター)
大木勝之	労務管理とコンプライアンス研修(オンライン)
大木勝之	水戸市集団指導及び介護保険セミナー(オンライン)

職員勉強会

参加者	内容
大木勝之/永田礼子/関沢恭鷹/沼田由美子	生活困窮者について
大木勝之/永田礼子/関沢恭鷹/沼田由美子	障害者サービスについて
大木勝之/永田礼子/関沢恭鷹/沼田由美子	ヤングケアラー支援について
大木勝之/永田礼子/関沢恭鷹/沼田由美子	共生型サービスについて
大木勝之/永田礼子/関沢恭鷹/沼田由美子	在宅ケアにおけるハラスメントについて
大木勝之/永田礼子/関沢恭鷹/沼田由美子	難病の支援について
大木勝之/永田礼子/関沢恭鷹/沼田由美子	BCP感染症マニュアルについて

総括

令和6年度は、「介護サービス計画書の様式及び課題分析標準項目」の一部改正に伴い、インテーク時のアセスメント様式を変更。アセスメントの内容を充足させることで、その人らしい望む暮らしの実現に向けてケアマネジメントが行えるように努めた。その結果、改善できること・維持できることを明確にし、支援のための見通しを立てることができた。

また、法定研修だけでなく事業所内での勉強会を毎月行うことで自己研鑽しながら実務実践を進めている。

他事業所との勉強会では、地域課題についても話し合い、共に地域を支える仲間として学びを深めることができた。

前期は終了者の増加により件数を増やすことができませんでしたが、後期は高齢者支援センターだけでなく病院や他事業所・家族から紹介を頂いて件数を増やすことができています。

今後は、同法人の高齢者支援センターと連携し、要介護または要支援となった地域の方々が可能な限り、居宅において自立した日常生活を営むことができるよう取組み、地域で選ばれる事業所を目指していく。

令和6年度 事業実績報告書

水戸市常澄高齢者支援センター

相談者調（年度内新規相談のみ）

稲荷第一地区	28	大場地区	10	圏域外	2
稲荷第二地区	17	下大野地区	21	合計	78

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	2	15	15	4	0	36
女	3	1	17	17	4	0	42
計	3	3	32	32	8	0	78

	最高	最低	平均
男	92	68	79.4
女	94	52	78.0
全体	94	52	78.7

相談内容内訳

相談内容	延件数	相談内容	延件数	相談内容	延件数
介護予防・生活支援	5	医療	92	ケアマネからの相談	9
総合事業	0	福祉・保健サービス	253	安心安全見守り隊	3
ひとり暮らし	96	介護保険制度	384	虐待の届出・通報	8
介護方法	3	経済状態	4	虐待応協議、立入、保護	50
施設入所	48	住まい住宅改修	54	家族状況	11
高齢世帯	37	生活関連	167	成年後見制度	0
精神疾患	1	認知症	330	合計	1,555

会議等参加状況

参加者	会議名
岩下 一善/橋本留実/畑岡武	コアメンバー会議
岩下 一善/橋本留実/畑岡武	運営推進会議
岩下 一善/畑岡武	虐待対応会議
岩下 一善/橋本留実/畑岡武	常澄地区ケアマネ連絡会議
岩下 一善/橋本留実/畑岡武	常澄地区事業者連絡会議
岩下 一善/橋本留実/畑岡武	常澄地区民生委員定例会
畑岡武	水戸市社会福祉士部会
岩下 一善/畑岡武	水戸市主任介護支援専門員部会
岩下 一善/畑岡武	水戸市障害者相談支援事業所会議
岩下 一善/畑岡武	水戸市地域包括支援センター運営協議会
岩下 一善/橋本留実/畑岡武	水戸市地域包括支援センター連絡会議
岩下 一善/橋本留実/畑岡武	地域ケア個別会議
橋本留実	認知症カフェ運営者等連絡会
岩下 一善/橋本留実/畑岡武	認知症地域支援推進員会議

研修報告

参加者	内容
岩下 一善、橋本留実	ACPを考えるきっかけになるボードゲーム（オンライン）
畑岡 武	第3回水戸市介護支援専門員支援事業研修（オンライン）
畑岡 武	第4回水戸市介護支援専門員支援事業研修（オンライン）
橋本留実	ビジネス文章研修（福祉会館）
橋本留実	意思決定支援研修会（水高スクエア）
畑岡 武	茨城県地域包括ケア推進担当者研修基礎編（オンライン）
橋本留実	茨認知症疾患医療連絡協議会（オンライン）
岩下 一善	介護支援専門員支援事業研修会（オンライン）
岩下 一善	介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務委託事業所説明会（オンライン）
橋本留実	虐待対応現任者基礎研修（オンライン）
岩下 一善	市町村等認知症担当者会議（オンライン）
岩下 一善	主任介護支援専門員法定外研修（茨城県開発公社）
畑岡 武	水戸市介護支援専門員支援事業研修（茨城県開発公社）
橋本留実	水戸市認知症病診連携講演会研修（オンライン）
橋本留実	成年後見制度の申立てに係る研修会（水戸市福祉ボランティア会館）
岩下 一善/橋本留実	精神保健福祉基礎講座1（精神保健福祉の基本）（オンライン）
橋本留実	地域包括支援センター職員基礎研修（オンライン）
橋本留実	認知症スクーリング研修（オンライン）
橋本留実	認知症地域支援推進員（オンライン）

企画講座交流会

名称	場所	参加人数	名称	場所	参加人数
ニコニコサロン	グリーンハウスみと	250	常澄地区シニア作品展	稲荷第一市民センター	173
本人ミーティング	グリーンハウスみと	1	認知症チェックセミナー	下大野市民センター	21

総括

水戸市方針の重点項目である実態把握業務の為、3～5年度まで地域高齢者の訪問調査を継続し、3年半で合計920件の調査を実施。調査をきっかけに支援センターを理解頂き、必要な支援の提供につながる事ができている。

高齢者虐待のケース支援について6件の通報があり、その後の対応により再発なく終結、継続的見守りを続けている。今後も高齢者虐待の防止のため、啓発活動を継続。

人生会議やエンディングノートについては、地区内の民生委員や事業所会議メンバーと在宅医療とACPにおける意思決定支援の理解、必要性を医師を招いて講義を実施することができた。

第9回目となるシニア作品展を、3日間にわたり開催。今年度は9団体と個人13名の出品者により、396点の作品提供の協力を頂けた。高齢者の方々の交流や相談、地域の介護保険事業所のPRの場を作ることができた。

令和6年度 事業実績報告書

特別養護老人ホームグリーンハウスひたちなか

要介護度別入所者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	8	6	7	21
女	0	0	16	16	14	46
計	0	0	24	22	21	67
平均介護度	4.00					

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	2	0	3	11	2	3	21
女	0	0	4	22	11	9	46
計	2	0	7	33	13	12	67

	最高	最低	平均
男	99	62	84.4
女	109	76	90.2
全体	109	62	88.5

市町村別利用者状況

	ひたちなか市	東海村	日立市	城里町	常陸太田	笠間市	合計
男	18	0	1	2	0	0	21
女	40	4	0	0	1	1	46
計	58	4	1	2	1	1	67

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

性別	自立度 障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	0	2	1	5	6	2	1	17
女	0	0	0	3	2	13	19	1	12	50
計	0	0	0	5	3	18	25	3	13	67

認知症高齢者の日常生活自立度

性別	自立度 認知症無	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	2	0	0	1	12	0	2	0	17
女	1	0	0	2	23	4	20	0	50
計	3	0	0	3	35	4	22	0	67

余暇活動状況

内 容	延人数	内 容	延人数	内 容	延人数
季節感を感じる行事	175	旬の食べ物を味わう	110	おやつイベント	378
敬老会	54	食事イベント	139		
新年会	25	夏祭り・暑気払い	53		

ボランティア受入状況 ※受入無し

会議・委員会

	実施回数	実施内容
ナース会議	12	ケース検討, 業務改善検討, 感染症対策検討
ユニット会議	12	ケース検討, 職員の知識と技術向上, 業務改善検討, 感染症対策検討
ユニットケア実行委員会	12	個別ケア及び標準化したケアの展開検討
リーダー会議	12	サービスの運営・維持確認, 各委員会報告, 業務改善検討等
安全衛生委員会	12	感染症対策について, 労働環境について
安全対策会議	12	事故分析, 事故予防策について
食事委員会	12	食事についての要望や問題点及び改善策
身体拘束排除委員会	12	身体拘束の見直し及び解除検討
入所検討委員会	4	待機者状況報告と入所順位決定

研修報告

参加者	内容
権瓶 崇、森島 萌	DocuWorksハンズオンセミナー(富士フィルムBIジャパン水戸事業所)
小林 ひろみ、森島 萌	茨城県栄養士会福祉専門研究会(茨城県立歴史館)
山崎徹	カウンセリング講座(茨城県産業会館)
柴 沙織	救急看護(看護協会)
小林 ひろみ、森島 萌	給食研究会ブロック合同研修会(福祉会館)
山崎 徹、権瓶 崇、清水 優子・、林 ひろみ	ケアテックス(東京ビッグサイト)
清水 亮雅	結核について(ひたちなか保健所)
小林 ひろみ、森島 萌	県央地区老人施設給食担当者研究会(桜川市民センター)
清水 亮雅	高齢者施設における感染症に係る職員健康管理(オンライン)
鈴木 英樹	高齢者福祉施設等の新任者向け感染症対策研修会(ひたちなか保健所)
松本 友里	コーチング研修A(福祉会館)
山崎 徹	社会福祉法人人事・労務管理講座(オンライン)
清水 優子	伝わるビジネス文書講座(福祉会館)
清水 優子	リスクマネジメントA研修(福祉会館)

地域貢献事業 ※実績無し

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	61	63	53	67	69	41	54	49	45	44	35	40	621
介護事故	8	3	6	4	8	4	5	6	5	7	7	1	64

職員勉強会

延人数	内容	延人数	内容	延人数	内容
84	BCP(2回)	80	ガウンテクニック・手洗い研修	7	脱水症について
84	権利擁護(年2回)	41	リスクマネジメント	84	虐待防止(年2回)
84	感染症対策(年2回)	84	身体拘束(年2回)	13	とろみの使用方法
9	排泄ケア・オムツの方法	40	ターミナルケア	42	移乗介助
6	摂食嚥下について	18	BCP机上・実働訓練(各1回)	10	嘔吐物処理研修
43	介護現場におけるハラスメント				

短期入所生活介護稼働状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	月間総数	285	295	285	295	295	285	294	285	294	295	275	294	3,477
	1日平均	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5
実績	月間総数	351	417	332	376	346	303	325	316	247	273	256	276	3,818
	平均	11.7	13.5	11.1	12.1	11.2	10.1	10.5	10.5	8.0	8.8	8.8	8.9	10.4

総括

令和6年度の重点目標である「人材の確保・育成」について、年間の採用者数4名のほか技能実習生2名を受け入れた。採用者4名のうち3名が外国籍で、定着に向けた取り組みとして個々の日本語能力や適性に合わせた指導を行った。3月末時点で全職員の2割弱が外国籍のスタッフであるが、業務内容を感じ覚的で曖昧な表現ではなく明確化することと、メンタル面のサポートとして適宜面談を実施したことで日本人職員とも良好な関係を築くことができた。

BCPIについては予定通り机上訓練と発生時の初期対応訓練を行い全職員に周知を図ることができた。

入所者については、今年度の年間退所者数は20名と前年比で増加傾向にあり、20名中14名が死亡退所であった。退所者については、国の平均在所要年数3.5年に対し、当施設では1年以下が6割程度を占めている。入院者についても年月平均2.4名から4.3名と増加しており、高齢かつ重度者の受け入れが多かったことが要因として挙げられる。

退所者や入所希望者の中には吸引等医療依存度が高い方もいることから、中長期的な計画として職員の資格取得や医療機関との連携として情報共有や勉強会を実施し、重度要介護者の受け入れ態勢を整えていくことが課題である。

令和6年度 事業実績報告書

認知症対応型通所介護センターグリーンハウスひたちなか 健康維持通所型グリーンハウスひたちなか

要介護度別利用者状況(認知症対応型通所介護センター)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	2	1	0	1	2	6
女	4	2	5	1	2	14
計	6	3	5	2	4	20
平均介護度	2.8					

年齢別利用者構成(認知症対応型通所介護センター)

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	2	4	0	0	6
女	0	0	4	5	4	1	14
計	0	0	6	9	4	1	20

	最高	最低	平均
男	88	76	81.8
女	97	71	84.1
全体	97	71	83.6

会議

	実施回数	延人数	内容
スタッフ会議	11回/3回(書面)	61	個別カンファレンス、業務改善、行事検討、感染防止対策
安全対策会議	12回/3回(書面)	61	事故防止対策
運営推進会議	2回	13	事業実績、事業計画書報告・家族、民生委員意見報告

研修報告

参加者	内 容
照沼 真由美	LIFEフィードバックの活用(オンライン)
小瀧 和代	介護職員初任者研修(慶和病院)
照沼 真由美、五野上沙織	稼働67%以下でも黒字のデイがやっていること(オンライン)
五野上 沙織	虐待をしないためのスピーチロック防止策～権利擁護研修～(福祉会館)
照沼 真由美、五野上沙織	ケアマネ営業の極意(オンライン)
照沼 真由美	事業所の魅力を伝える広報誌作り(オンライン)
照沼 真由美	認知症ケアについて(オンライン)
照沼 真由美	令和6年度地域密着型サービス集団指導(オンライン)

ひやりはっと・事故の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっと	75	74	40	40	17	25	16	22	20	15	22	24	390
介護事故	1	1	0	4	0	1	1	2	0	0	0	0	10

職員勉強会

延人数	内容	延人数	内容
5	リスクマネジメント(ヒヤリハット)	5	ハラスメントについて
12	権利擁護について(※2回実施)	6	リスクマネジメント(危険予知トレーニング)
10	感染症対策について(※2回実施)	6	認知症ケアについて
5	BCP(井戸・発電機の操作方法)	6	医療に関する知識について
6	入浴について	6	実績報告会
6	認知症について		

通所介護稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	229	240	208	240	187	219	240	219	219	208	208	219	2,636
実績	204	229	197	213	162	163	225	208	187	189	191	204	2,372
1日平均	9.3	10.0	9.9	9.0	8.2	7.4	9.8	9.9	8.9	9.5	9.6	9.7	9.3

健康維持通所型サービス稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
日数	4	4	4	4	4	4	4	3	1	4	3	3	42
実績	8	8	8	6	4	4	4	3	1	4	3	3	56

総括

業務改善の一環として連絡帳を簡素化した。家族には送迎時にその日の出来事などを口頭でより詳細に伝えることにより、以前よりも対面でのコミュニケーションが図れ、信頼関係を構築することができた。

室内環境の改善として営業時間帯はレースカーテンを開放し、閉鎖的な空間から開放的で明るい空間を演出した。それにより、利用者の表情も明るくなり、意欲の向上に繋がったと感じている。

年間目標に及ばなかった理由としては、利用者の状態変化に伴い在宅生活の継続が困難となり終了するケースが多くを占めていたことが挙げられる。次年度については、家族への心理的支援や在宅介護についてのアドバイスを行うことで、少しでも家族との生活を長く続けられるようサポートしていきたい。

令和6年度 事業実績報告書

訪問看護ステーション グリーンハウスひたちなか

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	医療	合計
男	2	8	8	11	7	3	4	5	48
女	6	8	9	16	7	8	5	10	69
計	8	16	17	27	14	11	9	15	117

年齢別利用者構造

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	5	1	19	13	8	2	48
女	4	1	14	30	13	7	69
計	9	2	33	43	21	9	117

	最高	最低	平均
男	99	57	79.4
女	103	25	83.7
全体	103	25	81.9

市町村別利用者状況

	ひたちなか市	那珂市	東海村	水戸市	大洗町	合計
男	40	4	4	0	0	48
女	57	4	4	4	0	69
計	97	8	8	4	0	117

会議

	実施回数	内容
スタッフカンファレンス	51	新規利用者、利用者情報共有、感染対策確認等

研修報告

参加者	内容
全職員、外部ケアマネージャー等14名	多職種連携「特定行為看護師」について(グリーンハウスひたちなか)
本多 弘志	2020診療報酬・介護報酬・障害福祉改定研修(オンライン)
金田 里沙	看護職のための感染看護(実践編)(茨城県看護協会)
坂本 はるみ	深めよう 在宅医療介護をもっと身近に(勝田病院)
大部 はるみ	看護が変わる・アセスメントエコー／画像診断のポイントなど(茨城県看護協会)
大部 はるみ	看護が変わる・アセスメントエコー／基本的知識など(茨城県看護協会)

職員勉強会

参加人数	内容	参加人数	内容
11	R6.6改定になる介護報酬・診療報酬について	9	ハラスメントについて
6	ポケットエコーについて	8	感染について
9	災害時の連絡手段、各自の役割分担の確認	11	災害時連絡手段、物品の位置の再確認
7	高齢者虐待について	8	コロナ感染利用者の対応について

訪問看護稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	900	900	920	920	900	900	920	850	850	850	850	800	10,560
実績	867	941	890	1,008	792	911	940	784	772	801	756	852	10,314

総括

- ・利用者年間延べ数は目標を達成することができなかった。
- ・コロナやインフルエンザなどの感染症によりリハビリの訪問ができない事が多く、訪問件数が伸びない月があった。
- ・職員数の減少により研修に行くことが難しい状況でもあり、今年度の研修数が少なかった。外部研修の参加を増やしていきたい。
- ・医療機関からの依頼が増えてきており、医療保険での訪問増加に繋がっている。

令和6年度 事業実績報告書

居宅介護支援センターグリーンハウスひたちなか

居宅介護支援、介護予防支援利用者数(9月～3月)

地区	延人数	地区	延人数	地区	延人数
ひたちなか市	63	常陸太田市	1	宇都宮市	1
常陸大宮市	5	城里町	1	支援(ひたちなか)	26
				合計	97

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	0	1	4	1	1	4	0
女	3	1	6	7	5	2	1
計	3	2	10	8	6	6	1
平均介護度				1.9			

年齢別利用者構成

	64歳 以下	65～ 69歳	70～ 79歳	80～ 89歳	90歳 以上
男	0	0	3	7	1
女	3	2	7	8	5
計	3	2	10	15	6

	最高	最低	平均
男	92	74	83
女	97	48	78
全体	97	48	80

会議等参加状況 ※実績無し

研修報告

参加者	内容
岩下 一善	居宅介護支援者集団指導(ふぁみりこらぼ)
岩下 一善	身体拘束等の廃止に向けた研修(オンライン)
岩下 一善	地域支援事業実施要項改正に係る講演会(オンライン)

総括

令和6年9月より事業開始。生活保護受給の単身世帯や、在宅診療が必要なケースの連絡調整等、適切なサービス提供への対応に努めた。また、状態変化により課題やニーズが変更となった場合にも柔軟な対応を心掛けた。
令和7年3月、市内の居宅介護支援事業所の休止に伴い、20名の担当依頼を受け対応した結果、年度末には36名の利用者確保となった。
6名の終了者もいたが、法人内の包括支援センターと連携し、要介護または要支援となった方に対し、迅速なサービスが提供できるよう引き続き取組を行う。

令和6年度 事業実績報告書

大島中学校区地域包括支援センター / 介護予防おおしま

新規総合相談実人数 / (予防プラン直作成数)

大島中学校区	144(607)
--------	----------

総合相談者年齢別利用者構成 ()内は予防プラン直作成対象者

	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 89歳	90～ 94歳	95歳 以上	匿名等	合計		最高	最低	平均
男	3 (0)	25 (1)	34 (4)	7 (0)	0 (0)	6 (0)	75 (5)	男	94	44	80.3
女	6 (0)	19 (1)	36 (4)	5 (0)	2 (1)	1 (0)	69 (6)	女	96	52	80.4
計	9 (0)	44 (2)	70 (8)	12 (0)	2 (1)	7 (0)	144 (11)	全体	96	44	80.3

相談内容内訳

相談内容	延件数	相談内容	延件数	相談内容	延件数
介護認定	100	施設の相談	49	一般介護予防事業等	3
介護保険外サービス	26	生活問題に関する相談	176	高齢者虐待	4
介護保険サービス	141	認知症・精神に関する相談	85	成年後見制度等	2
介護予防・生活支援サービス	95	保健・医療に関する相談	85	安否に関する相談	27
				合計	793

会議等参加状況

参加者	会議名
山本 義則/小泉 雅子/蓮田 研二	運営推進会議(年33回)
蓮田 研二	社会福祉士会議(年3回)
山本 義則	主任ケアマネ会議(年8回)/センター長会議(年5回)
山本 義則/小泉 雅子/蓮田 研二	小地域ケア会議(年3回)
山本 義則/小泉 雅子/蓮田 研二	認知症疾患医療センター連携協議会(年4回)
山本 義則/小泉 雅子/蓮田 研二	ひたちなか医療圏認知症疾患医療センター連携協議会(年2回)
山本 義則/小泉 雅子/蓮田 研二	包括連携会議(年2回)
小泉 雅子	保健師会(年1回)
山本 義則	認知症地域支援推進員会議(年5回)/地域ケア会議(年2回)
山本 義則	連携推進部会(年6回)/地域包括支援センター運営部会

研修報告

参加者	内容
山本義則/小泉雅子/蓮田研二	ACPの具体的進め方と留意点(オンライン)
山本義則	勝田病院講演会(ACP)(勝田病院)
小泉雅子	PDCAサイクルに沿った取組の推進(ひたちなか市防災会議室)
小泉雅子	イキイキ学ぶ食支援(土浦協同病院)
小泉雅子	キーパーソンとしての認定看護師の役割(オンライン)
蓮田研二	ケアマネジメントで行う家族支援の基本(オンライン)
山本義則/小泉雅子/蓮田研二	ひたちなか市介護支援専門員研修会(オンライン)
蓮田研二	ヤングケアラー支援関係機関職員等研修(福祉会館)
山本義則/蓮田研二	医療と介護の連携強化のための座談会(オンライン)
山本義則	介護支援専門員研修会「難病支援」(ふれあいセンターごだい)
蓮田研二	介護分野と障害分野の合同研修(ワークプラザ勝田)
小泉雅子/蓮田研二	共生社会に向けた地域づくりセミナー(オンライン)
小泉雅子	県看護協会スキルアップ研修摂食嚥下(茨城県看護協会)
小泉雅子/蓮田研二	県地域包括ケア推進担当者研修基礎編(オンライン)
小泉雅子	口の健康～かむ力・飲み込む力～(茨城県立医療大学)
蓮田研二	高齢者虐待対応現任者研修(福祉会館)
山本義則/小泉雅子/蓮田研二	高齢者等終身サポート事業の現状について(オンライン)
小泉雅子	国際福祉機器展(東京ビッグサイト)
山本義則/小泉雅子	災害時の高齢者・認知症支援について(オンライン)
小泉雅子	在宅口腔管理と地域連携のありかた(オンライン)
山本義則/小泉雅子/蓮田研二	若年性認知症支援研修会(オンライン)
蓮田研二	消費生活見守り研修(ふぁみりこらぼ)
蓮田研二	成年後見制度学習会(那珂市ふれあいセンター)
小泉雅子/蓮田研二	成年後見制度講演会(ひたちなか市文化会館)
蓮田研二	成年後見制度全国セミナー(オンライン)
小泉雅子	摂食嚥下障害に対する病院歯科の実力(ライトキューブ宇都宮)
小泉雅子	摂食嚥下障害看護 フォローアップ研修(茨城県立医療大学)
小泉雅子	多職種連携チームに料理人を加えた活動(オンライン)
小泉雅子	低栄養と摂食嚥下障害への包括的ケア(オンライン)
蓮田研二	認知症介護アドバイザー養成研修(茨城県立健康プラザ)
小泉雅子	認知症専門医からのアドバイス Part1(オンライン)

小泉雅子	福祉用具展示会2022(ワークプラザ勝田)
山本義則/小泉雅子/蓮田研二	訪問診療(フロイデケアタウン)
小泉雅子	明日から出来る、在宅での食支援(オンライン)
山本義則/小泉雅子/蓮田研二/吉原和子	令和6年度居宅介護支援事業者集団指導(ふぁみりこらぼ)
蓮田研二	令和6年度特定事業所共同研修会(オンライン)

企画講座、イベント、交流会

名称	場所	内容
Dカフェおおしま(年12回)	グリーンハウスひたちなか	ミニ講座、交流、脳トレ、ランチ会等
認知症キッズサポーター養成講座(年3回)	東石川小学校、外野小学校	認知症サポーター養成講座講義
民生委員協議会勉強会(講師)	大島コミュニティセンター	民生委員活動の目安と考え方
家族&本人のつどい みんなでポッチャ	那珂湊コミュニティセンター	ご本人とご家族のポッチャ大会
健康・絆・終活フェス2024	ワークプラザ勝田	医療や介護について考えるイベント
見守り・声かけ訓練	大成町自治会館	声かけの方法を学ぶ模擬訓練
介護助手養成講座	ワークプラザ勝田	Dカフェの説明とボランティア募集

総括

「総合相談支援業務」では、多様なケースに迅速に対応。特に独居や高齢者世帯、認知症の方を対象としたケースには、スピード感を持った対応に努めた。 「権利擁護業務」では、「Dカフェおおしま」を通じて啓発活動を実施し、悪徳商法による消費者被害を未然に防ぐ取り組みを行った。 「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」では、地域の介護支援専門員に対し随時相談や同行訪問を実施した。また、初の試みとして圏域内の介護支援専門員を対象に、医療機関との連携強化をテーマにした勉強会を開催。介護支援専門員の医療機関への理解を深めるきっかけとなった。 「介護予防ケアマネジメント業務」では、要支援者および事業対象者の要介護状態への進行を防ぎつつ、高齢者が地域で健康的な日常生活を送れるよう配慮した計画作成を行った。 認知症地域支援推進員と適宜連携し、個別ケースにおける課題解決に尽力。また、「Dカフェおおしま」を中心に認知症の方とその家族の支援を行うことで、地域社会における認知症に対する理解の向上に寄与した。さらに、「認知症キッズサポーター養成講座」や「終活フェス」、「見守り・声かけ訓練」などのイベントを通じ、地域全体の啓発活動を積極的に展開した。
--

令和6年度 事業実績報告書

ケアハウスかさま

入所者関係

要介護度別入所者状況

	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	7	2	1	10	2	1	0	0	23
女	7	4	4	10	1	1	0	0	27
計	14	6	5	20	3	2	0	0	50
介護認定率	72%								

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	2	7	8	6	0	23
女	1	0	5	13	4	4	27
計	1	2	12	21	10	4	50

	最高	最低	平均
男	92	70	82.1
女	99	64	85.1
全体	99	64	83.7

都道府県別利用者状況

	茨城県	東京都	千葉県	埼玉県	神奈川県	栃木県	その他	合計
男	17	2	0	0	1	3	0	23
女	21	3	1	0	0	0	2	27
計	38	5	1	0	1	3	2	50

余暇活動状況

内容	実施回数	内容	実施回数	内容	実施回数
DVDリハビリ体操	20	はじめてのヨガ	11	ドライブウォーキング	14
3B体操	12	ホットカフェ	3	カラオケ	12

ボランティア受入状況

延人数	内容	延人数	内容	延人数	内容
46	シルバーリハビリ体操	57	民話・フラダンス	2	大正琴演奏
1	マジックショー	4	カフェ(コーヒーサービス)	101	草取り、環境整備
8	音楽療法	98	子ども食堂		

会議・委員会

	回数	内容		回数	内容
安全対策委員会	11	事故予防対策	職員会議	12	入所者について、行事確認等
感染症対策委員会	11	感染症の基本知識と予防対策	厨房会議	12	メニュー・調理法確認、その他
虐待防止委員会	2	指針共有、高齢者の尊厳	懇談会	6	施設内生活、健康管理等

身体拘束適正委員会	4	指針共有、不適切ケア			
-----------	---	------------	--	--	--

研修報告

参加者	内容
松岡淳子	BCP研修会、見直しのポイント(地域福祉センターともべ)
松岡淳子	介護支援専門員更新研修(福祉会館)
大島律子/犬塚新一	虐待の基礎知識(オンライン)
大島律子	虐待防止・身体拘束の基礎(オンライン)
大島律子	身体拘束(オンライン)
松岡淳子	緊急対応の基礎知識(オンライン)
粉川裕正	施設内感染症研修会(茨城県健康プラザ)
大月春香	認知症(中核症状、種類と対応)(オンライン)
大島律子/大月春香	認知症ケアの基礎(オンライン)
大島律子/大月春香	認知症の理解(オンライン)
粉川裕正	深化する介護福祉士会(地域交流センターともべ)

地域貢献事業

子ども食堂(全12回)	348食提供
-------------	--------

職員勉強会

参加人数	内容	参加人数	内容	参加人数	内容
7	虐待防止について	8	インフルエンザについて	9	高齢者の交通事故予防
7	食中毒について	6	緊急時の対応について	9	災害発生時の対応②
8	精神疾患について	5	高齢者の尊厳について	7	認知症について
7	脱水と熱中症対策	6	災害発生時の対応①	9	フレイルについて

ケアハウス利用状況(定員50名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,400	1,550	18,250
実績	1,530	1,581	1,530	1,581	1,581	1,530	1,581	1,500	1,550	1,581	1,428	1,581	18,554

総括

(施設)

入所者の高齢化に伴い、身体機能低下・認知症の進行による施設移動、持病による突然の退所が相次ぎ、多くの入所者入れ替えの年となった。結果、利用目標は達成できたものの、今後の入所者確保が大きな課題の一つ。ハード面では建物の老朽化が進み、少しずつ修理を進めている状況。生活面では、新しいボランティアの受け入れや行事のマンネリ化に変化をつけ、より良い施設サービスの提供に取り組んだ。今後もケアハウスの特性を活かし、満足できる生活が送れるよう創意工夫に取り組む。

(地域)

グリーン食堂(子ども食堂)は、広く地域の方に認知されるようになり、食事の提供数も少しずつ増加。運営して下さるボランティア確保も大事なひとつだが、この活動がさらに地域で安心・楽しいコミュニティ作りの場となるように、ボランティアの方々と共に今後も食事の提供を継続する。

令和6年度 事業実績報告書

訪問介護 介護センターかさま

要介護度別利用者状況

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	2	7	11	7	0	0	0	27
女	0	2	8	18	7	2	3	0	40
計	0	4	15	29	14	2	3	0	67
平均介護度	1.4								

年齢構成

	最高	最低	平均
男	94	55	80.0
女	99	58	85.7
全体	99	55	83.4

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	1	1	12	7	6	0	27
女	2	0	3	21	11	3	40
計	3	1	15	28	17	3	67

地域別登録者

施設	笠間	友部	岩間	城里	合計
22	28	12	3	2	67

訪問介護利用者状況

サービス内容	延件数	サービス内容	延件数	サービス内容	延件数
身体介護	2,851	障害者	341	通院等乗降介助	89
身体生活	2,868	移送サービス	585	総合事業	1,226
生活援助	645	自費サービス	276	合計	8,881

研修報告

参加者	内容
軽部史千	茨城県介護助手等推進事業説明会(オンライン)
軽部史千	茨城県介護保険施設等管理者研修会(オンライン)
粉川裕正/軽部史千	介護現場における生産性向上のためのDX研修会(友部公民館)
軽部史千	介護支援専門員更新研修(オンライン)
粉川裕正/軽部史千	笠間市介護サービス事業所管理者等研修会(笠間市役所)
軽部史千	障害福祉関係事業者業務管理体制整備講座(オンライン)
粉川裕正/軽部史千	深化する介護福祉士会(地域交流センター友部tomoa)
軽部史千	多職種連携研修会(地域交流センター友部tomoa)
軽部史千	福祉サービス苦情解決研修会(オンライン)
全職員	法廷研修および個別研修計画に基づく研修(オンライン)
飯島厚美/大森直美	訪問介護員中央研修会(オンライン)

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
介護事故	2	0	0	0	1	0	1	1	2	0	1	1	9

会議

	実施回数	実施内容
職員会議	12	ケース検討、事業計画確認等

職員勉強会

延参加人数	内容	延参加人数	内容
6	事業計画、倫理・法令順守、虐待防止委員会	6	プライバシー保護、虐待防止委員会
6	食中毒予防	8	安全運転、事故防止
7	熱中症・脱水予防対応、安全対策委員会	6	ハラスメント、安全対策委員会
6	緊急時の対応(看取り時含む)	7	認知症ケア
6	接遇	5	終末医療
5	感染症対策、感染症対策委員会	6	災害対策、非常災害対策委員会

総括

令和6年度

介護保険サービス 訪問介護 6735件(前年比114%) 総合事業 1226件(前年比90%)

障害福祉サービス 居宅介護・同行援護 341件(前年比120%)

訪問介護は特定事業所加算の看取り期の利用者要件が新設されたことで、上位加算Ⅰを取得でき、増収増益となった。

看取り期の利用者の積極的な受け入れにより、総件数の増加にも繋がった。

障害者福祉サービスでは、同行援護サービスを開始。制度的な理解を深めたことで、居宅介護における共同実践の算定ができ、件数・利益率も堅調に増加。

今後も働き手に応じた活躍の場、働きやすい環境づくりに努め、一人でも多くの方にケアを届けられるよう取り組む。

令和6年度 事業実績報告書

居宅介護支援センターかさまグリーンハウス

居宅介護支援利用者数

地区	延人数	地区	延人数	地区	延人数	
笠間市	1,502	その他市町	29	県外	142	合計 1,673

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	1	0	17	17	10	5	0
女	4	2	29	22	15	6	6
計	5	2	46	39	25	11	6
平均介護度				2.1			

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上
男	3	2	19	15	10
女	3	0	10	37	35
計	6	2	29	52	45

	最高	最低	平均
男	94	54	80
女	99	58	87
全体	99	54	84

会議等参加状況

参加者	内容
菊池めぐみ/和田智恵/斉藤敦子/稲優	かさまケアマネ会総会(地域交流センター)
和田智恵/斉藤敦子	かさまケアマネ会運営委員会(年7回)(地域医療センターかさま)
斉藤敦子/稲優	グループホーム運営推進会議(グループホームかさま)
和田智恵	ケアプラン点検委員会(年3回)(笠間市役所)
菊池めぐみ/和田智恵/斉藤敦子/稲優	ケアマネ会研修会(年1回)(地域医療センターかさま)
菊池めぐみ/和田智恵/斉藤敦子/稲優	地域ケア会議(年間3回)(地域医療センターかさま)
斉藤 敦子/菊池めぐみ	茂木町居宅介護支援事業所連絡会(茂木町町民センター)

研修報告

参加者	内容
菊池めぐみ	医療 介護 障害同時改定におけるケアマネジメントについて(オンライン)
菊池めぐみ/和田智恵/斉藤敦子/稲優	笠間市介護支援専門員研修会(年2回)(地域交流センター)
和田智恵	ケアプラン点検の方法(オンライン)

和田智恵	ケアプランの書き方(オンライン)
菊地めぐみ	高齢者虐待のための研修(地域交流センター)
和田智恵	主任介護支援専門員更新研修(9日間)(オンライン)
菊地めぐみ/斉藤敦子	多職種との意見交換会(地域交流センター)
菊地めぐみ	難病ケアマネジメントの理解と実践(オンライン)

会議

	実施回数	内容
サービ提供会議	48	利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意点・ケアプラン検証確認

職員勉強会

月	内容	月	内容
4	よくわかる社会保障制度 2024	10	2026年度を見据えて今後の注目ポイント
5	生活保護制度について	11	適切なケアマネジメント手法
6	ケアプラン作成実践	12	なぜケアマネージャーにICT活用が求められているのか
7	生活困窮の実態とセーフティーネット	1	現場で求められる3つのマネジメント手法
8	援助的コミュニケーションとは	2	知りたい情報を引き出す技術
9	精神疾患のある人へのかかわり方	3	今までの各制度のまとめ

総括

職員間の報告・連絡・相談がしっかり行なえ、事業所内で利用者の情報共有・地域資源の情報共有ができた。拠点内事業所とも密に連絡調整ができ、十分に連携をとることができた。
OJTの活用で新人職員への指導ができ、成長を感じることができた 1年となった。

令和6年度 事業実績報告書

認知症高齢者グループホームかさま

要介護度別入所者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	1	1	0	0	2
女	5	2	4	3	2	16
計	5	3	5	3	2	18
平均介護度						2.7

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	1	0	0	1	0	2
女	0	1	0	6	7	2	16
計	0	2	0	6	8	2	18

	最高	最低	平均
男	94	65	79.5
女	100	69	89.2
全体	100	65	88.2

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
女	1	1	5	5	3	1	0	0	0	16
計	1	1	5	5	5	1	0	0	0	18

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	0	0	0	0	1	1	0	2
女	4	3	3	2	1	3	0	16
計	4	3	3	2	2	4	0	18

会議

	実施回数	内容
職員会議	12	行事検討、安全対策、サービス向上、個別ケア
運営推進会議	6	入所者状況報告、運営状況、ひやり・事故報告、身体拘束
身体拘束適正化委員会	6	身体拘束指針、マニュアル、拘束適正化等
感染症対策委員会	12	感染症対策マニュアル・対応・予防・業務継続
高齢者虐待防止委員会	6	虐待防止指針、マニュアル、虐待事例の分析
安全対策委員会	6	リスクマネジメント、危険予測、ヒヤリハットの分析

研修報告

参加者	内容
山口諭/塚本智美	BCP研修(ザ・ヒロサワ シティ会館)
山口諭	フットケアについて(グリーンハウスみと)
山口諭	感染症対策について(水戸健康プラザ)
池田正代/鈴木牧華/口町美也子/仲田浩子 丸井 リベルティ クラウド/南雲いずみ	特養研修(グリーンハウスみと)

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	1	1	2	1	0	0	0	0	2	4	0	0	11
介護事故	1	1	0	3	3	1	3	3	0	0	7	2	24

職員勉強会

延人数	内 容	延人数	内 容
12	身体拘束(年6回)	10	感染症業務継続計画の学習
18	リスクマネジメント(年6回)	10	事業計画について
24	虐待防止(年6回)	25	防災について(避難訓練)
70	感染症対策(年12回)	5	コロナ感染時の保健所指導研修

【共用型通所】

要介護度別利用者状況

介護度 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	1	0	0	0	2
女	2	3	2	0	0	7
計	3	4	2	0	0	9
平均介護度	1.9					

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	2	0	2
女	0	0	2	3	2	0	7
計	0	0	2	3	1	0	9

	最高	最低	平均
男	92	91	91.5
女	89	77	85.7
全体	92	77	87

認知症高齢者グループホーム稼働実績(4月～11月:定員9名＝100%、12月～3月:定員18名＝100%) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98
実績	99	98	100	100	100	100	94	98	100	100	99	94	99

共用型認知症対応型通所稼働実績(定員3名＝100%) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95
実績	32	35	39	27	39	37	43	44	34	34	25	35	35

総括

法人内外の居宅事業所、訪問介護事業所等との連携に努めながら満床を維持。
 家族と協力し利用者の笑顔を増やして楽しく過ごせるよう生活の質の向上に努めた。
 職員間では情報の共有を密にし、新人からベテランの職員まで業務の見直しを通して誰もが働きやすい環境を整え、安全安心をスローガンに取り組んでいる。
 利用者には訪問看護・訪問診療と協力し体調の変化に気を付け、早期発見から重度化に繋がらない体制を構築。日々体操や余暇活動で筋力維持に努めるとともに、季節の行事やお楽しみ献立で充実した生活を整えている。
 業務継続計画の作成により、感染症や災害に向けた対策を実践。訓練や研修を行い地域・行政と共生した事業所を目指す。

令和6年度 事業実績報告書

認知症対応型通所介護センターグリーンハウスともべ

要介護度別利用者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	3	0	2	2	0	7
女	6	3	8	1	1	19
計	9	3	10	3	1	26
平均介護度	2.5					

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	2	2	3	0	7
女	0	0	4	6	5	4	19
計	0	0	6	8	8	4	26

	最高	最低	平均
男	93	78	85.2
女	99	73	87
全体	99	73	86.5

会議

	実施回数	内容
職員会議(文書を含む)	12	ケース検討、安全対策検討、サービス向上検討等
ナース会議(文書を含む)	5	対応策の周知、業務改善検討、感染対策検討
機能訓練会議	5	ケース検討、機能訓練内容検討・評価
運営推進会議	2	事業報告、行事活動、利用者状況、ヒヤリはつと報告等
感染対策委員会	1	感染対策マニュアルを基に感染予防対応についての意見交換
高齢者虐待防止委員会	2	委員会の目的、検討事項、体制、役割、高齢者虐待発生後対応の確認

研修報告

参加者	内 容
金子恵子	「経営×ブランディング」～心を動かす文脈～(サ ヒロサワ シティ会館)
杉山和代	BCP初級編災害支援から見てきたBCP見直しポイント(笠間地域福祉センター友部)
清水久美子	茨城県介護事業者トップセミナー(水戸プラザホテル)
清水久美子	外国人介護人材活用セミナー(福祉会館)
清水久美子	介護現場における外国人介護人材雇用のための研修(笠間市市役所)
金子恵子	高齢者虐待防止のための研修会(地域交流センターTomoa)
清水久美子	社会福祉法人における計算書類の見方と分析の進め方(オンライン)
鈴木恵子	特定看護師としての役割とその効果(法人本部)
全職員	入浴介助研修(自立支援について)(グリーンハウスともべ)
全職員	入浴介助研修(入浴介助の基本)(グリーンハウスともべ)
全職員	入浴が苦手な方、嫌いな方へのアプローチ(グリーンハウスともべ)

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
介護事故	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	3

職員勉強会

延人数	内 容	延人数	内 容
6	高齢者虐待と身体拘束について	6	高齢者施設の感染予防と対策
6	高齢者の誤嚥防止対策と口腔ケア	6	高齢者の体の仕組みについて
6	家族に伝わる介護記録の書き方について	6	認知症の理解とケアについて
6	自然災害時の対応訓練	6	介護施設で働く職員のストレス対策
6	感染症発生時の対応訓練	6	職場の業務改善について

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
年間目標	233	243	212	243	201	222	243	222	222	212	212	222	2,687
年間実績	228	250	220	232	192	222	236	231	219	217	212	230	2,689
1日平均	10.4	10.8	11.0	10.0	10.6	10.6	10.2	11.0	10.2	10.9	10.6	10.9	10.6

総括

令和6年度は認知症対応型通所介護サービスとして、専門的支援に力を入れて進めてきた。利用者個々の対応、家族の介護に関する相談にも対応しながら、個々のニーズに合わせる支援を進めることができた。また、職員のスキルアップについても専門的知識を学ぶことができた。今後の取り組みとしては、より地域に根差し、利用者だけでなく家族のケアを含めて支援の提供に繋げていきたい。

令和6年度 事業実績報告書

認知症対応型グループホーム グリーンハウスとちぎ

要介護度別入所者状況

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	1	0	1	0	0	2
女	1	8	1	6	0	0	16
計	1	9	1	7	0	0	18
平均介護度				1.8			

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	2	0	0	0	2
女	0	1	1	2	6	6	16
計	0	1	3	2	6	6	18

	最高	最低	平均
男	74	74	74
女	97	66	90.4
全体	97	66	88.6

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
女	0	0	4	2	8	1	0	0	1	16
計	0	0	4	2	8	2	1	0	1	18

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	1	0	0	1	0	0	0	2
女	1	3	8	1	2	1	0	16
計	2	3	8	2	2	1	0	18

会議

	実施回数	内容
職員会議	12	個別サービス、安全対策会議、感染症対策委員会、虐待防止委員会、身体拘束等適正化委員会

研修報告

参加者	内容
永嶋聡美	実務者研修(福祉教育センター)
田中博之	生産性向上加算の算定に関して(オンライン)
横倉聡/パパウィン/チュテツウェ	認知症基礎研修(オンライン)
椎名明俊	認知症実践者研修(栃木県庁)
椎名明俊	認知症対応型サービス管理者研修(栃木県庁)

田中博之/椎名明俊	防火管理者講習(クリアこうのす/笠間市消防本部)
-----------	--------------------------

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	1	1	0	0	3	0	3	0	0	0	6	1	15
介護事故	0	1	4	2	3	0	0	0	0	0	0	3	13

職員勉強会

延人数	内 容	延人数	内 容	延人数	内 容
6	緊急時対応について (救急対応手順等)	5	利用者の精神的ケアについて	4	リスクマネジメントについて
8	防災について(台風・水害) ※災害時業務継続(BCP含)	8	防災について(火災・地震) ※災害時業務継続(BCP含)	5	身体拘束について
5	熱中症について	5	感染症について(業務継続含)	6	利用者の身体的ケアについて
4	虐待について	5	安全運転(積雪・凍結時)について	6	新年度事業計画について

認知症高齢者グループホーム稼働実績(定員18名=100%) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95
実績	100	100	100	100	100	96	95	84	80	83	84	97	93

共用型認知症対応型通所介護稼働実績(定員3名=100%) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65
実績	33	33	33	22	0	0	0	0	0	0	0	0	10

総括

令和6年度、グループホームでは上半期2名下半期4名、合計6名の入院があった。入院期間は比較的短期であったものの、重度化により退所となるケースが多く見受けられた。3月中旬には満床となり、今後もこの状態を安定的に維持していくことを目指している。

共用デイサービスに関しては営業継続はしているが、利用者確保が難しい状況が続いている。今後ケアマネジャーや病院関係者へ再アプローチを行い、利用促進に努めたい。

令和6年8月、特定技能外国人としてミャンマーから2名の女性介護職員を採用し、勤務を開始。現在は業務にも日本の生活にも慣れた様子。心配していた、入居者とのコミュニケーションも笑顔が見られ、円滑に図れており、今後更なる活躍が期待できる。

令和6年度 事業実績報告書

訪問入浴介護センターグリーンハウスとちぎ

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	1	1	4	1	2	9
女	0	0	1	0	0	3	4	8
計	0	0	2	1	4	4	6	17
平均介護度	3.6							

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	1	0	4	3	0	1	9
女	1	0	1	1	1	4	8
計	2	0	5	4	1	5	17

	最高	最低	平均
男	95	60	77.9
女	101	64	87.1
全体	101	60	82.2

総括

3月現在、訪問入浴登録者は17名。また、益子町からの委託事業として、障害者1名の利用がある。
各事業所との情報共有により、手厚い介護支援を行うことができた。安定した長期利用の方も増えている。
引き続き強固な信頼関係の構築に努める。

令和6年度 事業実績報告書

小規模多機能型居宅介護 グリーンハウスやまうち

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	1	3	0	2	0	0	7
女	2	2	1	2	0	1	1	9
計	3	3	4	2	2	1	1	16
平均介護度	1.7							

年齢別利用者構成

	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	2	3	0	2	7
女	0	0	1	6	2	9
計	0	2	4	6	4	16

	最高	最低	平均
男	95	72	85.8
女	97	87	92.6
全体	97	72	89.2

会議

	実施回数	実施内容
検討会議	12	個別サービス、安全対策会議、担当者会議、感染症対策委員会、虐待防止委員会、身体拘束適性委員会

研修報告

参加者	場所	内容
深谷 哲央	真岡市青年女性会館	労務管理・労働災害防止対策講習会2024
深谷 哲央	栃木県庁芳賀庁舎	令和6(2024)年度介護人材に関する意見交換会
深谷 哲央	茂木町役場	茂木町生活体制整備事業における協議体の開催
森田 学	栃木県庁	認知症対応型サービス事業管理者研修

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	4	9	7	7	5	0	4	6	5	4	0	2	53
介護事故	0	1	1	2	1	2	0	2	1	1	0	1	12

職員勉強会

延人数	内容	延人数	内容
5	BCPマニュアルについて	5	感染症について
6	業務マニュアルについて	5	安全運転・車両の取り扱いについて
4	人材教育・指導について	5	緊急時の対応について(救急対応・AED)
3	熱中症・脱水症対策について	6	サービス評価について
5	KYT研修について	4	地震、火災、避難時の対応について
5	事故・ヒヤリ事例検討	5	新年度事業計画書について

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①人材育成力の向上のため「受入マニュアル(自己評価シート)」 「業務内容マニュアル」の内容を確認後、更新及び見直し(会議等 で)を図り、最新の状態のマニュアルを随時保管しておく(6か月の 見直し更新回数 S:3回以上 A:2回 B:1回 C:0回以下)	S	S	S
②業務継続計画(BCP)の訓練実施後、課題抽出及びマニュアル の更新,更新内容の勉強会を実施する(6か月の課題抽出回数 S: 1回以上 C:0回以下)	S	S	S
③SNSを活用し事業所情報発信をすることで、利用者確保、職員 確保につなげる。(6か月の発信回数 S:6回以上 A:4回以上 B:2回以上 C:0回以下)	C	C	C

登録者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目 標	24	24	24	24	24	24	25	25	25	25	25	25	294
実 績	18	18	18	17	17	18	18	18	18	17	16	16	209

総括

令和6年度は、目標とする登録者数の確保ができなかった。年間6名が退所し新規獲得は4名。
理由としては、年度後半にADL低下による在宅生活が困難なケースが多く発生し、介護度の高い利用者が茂木町内の
特別養護老人ホームへの施設入所(6名)となったこと。
高齢化及び介護度の上昇により、在宅介護が困難となっている状況が見受けられる。在宅介護者の負担軽減につな
がる相談支援の拠点施設であることを念頭に、地域における役割を果たしていく。

令和6年度 実績報告書

認知症対応型グループホーム グリーンハウス陣屋

要介護度別入所者状況

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	0	0	0	2	2
女	0	5	2	1	2	5	15
計	0	5	2	1	2	7	17
平均介護度		3.24					

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	1	0	0	2
女	0	0	1	7	5	2	15
計	0	0	2	8	5	2	17

	最高	最低	平均
男	84	77	80.5
女	101	78	89.5
全体	101	77	89.0

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
女	0	1	0	3	3	5	2	0	1	15
計	0	1	0	3	3	5	2	0	3	17

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	0	0	0	0	0	2	0	2
女	0	0	2	6	1	5	1	15
計	0	0	2	6	1	7	1	17

会議

	実施回数	内容
職員会議	12	個別ケア・身体拘束適正化・感染症対策・高齢者虐待防止等
サービス担当者会議	12	サービス計画の見直しと評価・検討
運営推進会議	6	入所者状況報告・事業計画・事業実績他
安全対策会議	12	事故報告書等による検討・今後の安全対策

研修報告

参加者	内容
池田 美由紀	高齢者施設における感染症に係る職員健康管理について(オンライン)
池田 美由紀	高齢者施設における消毒液の使い方・環境清掃(オンライン)

野澤 文子	アンガーマネジメント研修(オンライン)
-------	---------------------

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	8	1	2	6	6	6	7	6	8	2	5	1	58
介護事故	1	1	2	3	3	2	2	3	5	3	1	3	29

職員勉強会

延人数	内容	延人数	内容
14	接遇・高齢者の尊厳・虐待防止(年1回)	22	リスクマネジメント・身体拘束適正化(年2回)
32	緊急時対応・看取り(年2回)	17	感染症予防・対策(年1回)
8	移乗介助について	34	身体拘束適正化(年2回)
7	口腔ケア・誤嚥性肺炎について	8	認知症の理解(利用者間トラブルの原因)

認知症高齢者グループホーム利用実績(定員18名=100%) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
実績	94.4	85.3	92.8	92.5	85.7	93.5	93.5	100.0	100.0	95.9	94.4	92.8	93.4

総括

令和6年度の稼働状況は年間目標98%に対し93.4%という結果だった。年間退所者は5名であり、前年度より2名減であったが、入所待機者を確保できず、新規入居者を確保するまでの空床期間が増加したことが要因。

また、事業所のコンセプトである看取り対応可能なグループホームがスタッフの高年齢化、人材不足等により維持が難しくなってきたことから、持続可能な事業所運営を目標に、中度者の受入れを推進し、平均介護度を3程度に引き下げることと退所者、入院者を抑制し、安定した稼働を目指した。

令和5年度の感染症集団感染の経験を活かし、衛生環境の維持と業務の絞り込みによる効率的な運営による持続可能な事業所運営に努める。

入居者の変遷から、身体的重度者は減少し、認知症の方との精神的関わり方がより重要になってきた。スタッフには認知症ケアの知識向上の為研修機会を確保し、利用者が安心して過ごせる環境をつくっていく。

令和6年度 実績報告書

小規模多機能型居宅介護 グリーンハウス陣屋

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	1	0	0	0	0	1
女	0	0	9	5	1	1	0	16
計	0	0	10	5	1	1	0	17
平均介護度	1.52							

	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	0	0	1
女	0	3	7	4	2	16
計	0	3	8	4	2	17

	最高	最低	平均
男	83	83	83
女	99	77	88
全体	99	77	88

会議

	実施回数	内容
スタッフ会議	12	ケース検討・行事検討・多職種連携確認・感染症対策・高齢者虐待防止等
運営推進会議	6	運営状況報告・行事内容活動報告・連絡事項・意見交換
安全対策会議	8	要因分析・安全対策・再発防止

研修報告

参加者	内容
木本 裕美	法人ナース会(グリーンハウスみと)

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	1	1	7
介護事故	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	5

職員勉強会

延人数	内容	延人数	内容
5	移乗介助について	5	緊急時対応について

5	接遇について	4	口腔ケア・誤嚥性肺炎について
7	熱中症・食中毒について	4	認知症に対する理解とケアについて
14	防災(業務継続)について	8	リスクマネジメント・身体拘束適正化について
8	看取り介護・高齢者の尊厳について		

登録者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	18	18	19	20	21	22	20	21	22	22	23	23	20.8
実績	14	14	16	16	17	17	17	18	17	17	17	17	16

総括

令和6年度は、退院支援型の施設であることを病院を中心に営業実施し、ソーシャルワーカーからの相談案件も増加したが、介護状態になった方の家族は入所系サービスを希望することが多く、相談から契約にまで至らないことが多くあった。

ソーシャルワーカーには小規模多機能型居宅介護事業所の有用性を理解してもらえたが、令和7年度は近隣に暮らす高齢者とその家族にも理解してもらえる様、小規模多機能型居宅介護事業所について分かりやすいチラシの作成・広報活動を居宅介護支援事業や包括支援事業所等の関係各所、近隣学校等の公共機関にも広報範囲を拡大していく。

令和6年度 事業実績報告書

多機能型重症児デイサービス グリーンハウスおおつか

障害児通所利用状況

(児童発達支援)

(放課後等デイサービス)

区分 性別	重症心身 障害児	重症心身 障害児以外	合計	区分 性別	重症心身 障害児	重症心身 障害児以外	合計
男	2	0	2	男	3	1	4
女	2	1	3	女	6	0	6
計	4	1	5	計	9	1	10

年齢別利用者構造

(児童発達支援・放課後等デイサービス)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	合計
男	0	0	0	1	1	2	1	1	6
女	1	0	1	0	1	2	1	3	9
計	1	0	1	1	2	4	2	4	15

市町村別利用者状況

	水戸市	城里町	茨城町	合計
男	5	0	1	6
女	7	2	0	9
計	12	2	1	15

会議

	実施回数	延人数	内容
スタッフミーティング	10	56	各種委員会会議及び研修、個別支援計画作成会議・事業進行管理

研修報告

参加者	内容
海老名恵子/菅野一恵/谷田部明子	茨城県小児在宅医療勉強会(県立こども病院)
菅野一恵/落合千秋	小児在宅医療シンポジウム(県立こども病院)
谷田部明子	学校公開授業見学会(水戸特別支援学校)
海老名恵子	指定障害福祉サービス事業者等集団指導(オンライン)
海老名 恵子	重症児デネット全国大会(サンライズヒル大阪ホール)
磯和利/海老名恵子	障害福祉eラーニング研修 障害福祉関係指導監督職員等支援研修(オンライン)
菅野一恵	福祉サービス苦情解決研修会(オンライン)
海老名 恵子	水戸市自立支援協議会こども部会勉強会(ミオスビル会議室)
海老名恵子	茨城県医療的ケア児等コーディネーター養成研修(茨城東病院・県庁)

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

職員勉強会

延参加人数	内容
64	感染対策・虐待防止・身体拘束適正化について

障害児通所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	88	90	88	88	88	88	88	88	90	88	90	90	1,064
実績	91	95	91	102	77	99	102	100	89	80	82	97	1,105

総括

令和6年度は、月平均92件の実績となり、目標値を超える月が増加している。

月2～3人の入退院者があることから、月ごとの利用状況変動に影響している。

今後も家族との情報共有を密に行うことで、利用状況の安定に繋げていきたい。

職員の育成については、次期児童発達管理責任者育成の為、障害福祉サービスの知識向上の研修受講と実務経験日数を習得出来た。職員育成が安定した運営にも繋がるため新年度も積極的に取り組んでいく。

令和6年度 事業実績報告書

訪問看護ステーショングリーンハウスみと

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	医療	合計
男	0	2	9	10	2	1	0	6	30
女	3	5	9	9	4	3	1	1	35
計	3	7	18	19	6	4	1	7	65
平均介護度	1.8								

年齢別利用者構造

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	合計
男	3	4	10	9	4	30
女	3	0	8	16	8	35
計	6	4	18	25	12	65

	最高	最低	平均
男	98	51	77.5
女	101	55	83.1
全体	101	51	80.7

市町村別利用者状況

	水戸市	茨城県	笠間市	大洗町	城里町	合計
男	7	0	22	0	1	30
女	9	2	24	0	0	35
計	16	2	46	0	1	65

会議

	実施回数	内容
ケアカンファレンス	24	新規利用者について・介入困難事例について

研修報告

参加者	内容
上野美砂記、川村和美、矢田目紗耶華、押田麻莉絵 武藤俊典、船橋健太、因隼人	BCPについて(オンライン)
磯 和利	安全運転管理者講習(ザ・ヒロサワ・シティ会館)
上野美砂記、川村和美、矢田目沙耶華、押田麻莉絵	看護師と理学療法士間の連携体制構築
上野美砂記、川村和美、矢田目紗耶華、押田麻莉絵 武藤俊典、船橋健太、因隼人	医療現場で知っておくべき高齢者虐待と権利擁護(オンライン)

上野美砂記、川村和美、矢田目紗耶華、押田麻莉絵 武藤俊典、船橋健太、因隼人	在宅における感染症予防の考え方と対策(オンライン)
武藤 俊典	訪問リハビリテーション実践者研修(オンライン)
上野 美砂記	訪問看護管理者 リーダーシップとマネジメント(オンライン)
船橋 健太	心不全高齢者に対するリハビリテーションの進め方(オンライン)
上野美砂記、川村和美、豊田美恵子 武藤俊典、船橋健太、因隼人	暴力・ハラスメントについて(オンライン)

職員勉強会

参加人数	内容	参加人数	内容
7	BCP(感染発生時)の対応	7	在宅におけるハラスメントについて
7	BCP(災害時発生時)の対応	7	看護師と理学療法士の連携
7	栄養学・脱水症予防	7	本年度の総括と次年度事業計画

訪問看護働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	520	520	520	520	520	520	554	554	554	554	554	557	6,447
実績	558	573	524	547	484	530	559	529	456	439	430	441	6,070

総括

令和6年度の延べ件数6,070件で目標達成率は94%。

上期に対し、下期の件数が下降傾向であるため、早急な利用者確保が喫緊の課題。

令和7年度より笠間市へ事業所が移転、笠間市内の事業所と新たな関係構築へ向けて

積極的に動いていく。

令和6年度 実績報告書 法人本部

評議員会・理事会開催録

	内容
第150回理事会 R6.6.6 理事 6名 監事 2名	1.決議された事項 1)令和5年度 社会福祉法人尚生会 第二次補正予算(案)について 2)令和5年度 社会福祉法人尚生会 事業報告及び決算について ①各拠点事業報告及び決算報告 ②令和5年度 監事監査の結果報告 3)ケアハウスかさま太陽光発電システム設置工事計画(案)について 4)ケアハウスかさま太陽光発電システム設置工事に係る業者選定(案)について 5)社会福祉法人 尚生会 経理規程の一部改正(案)について 6)社会福祉法人 尚生会 給与規程の一部改正(案)について
第89回評議員会 R6.6.21 評議員5名 監事2名	7)評議員会(第89回)の招集(案)について 2.報告事項 1)理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告(理事長専決事項について) ①介護保険請求ソフト「ワイズマン」の契約更新の報告について(グリーンハウスひたちなか) ②給食委託業者の委託費及び食材費価格変更報告について(グリーンハウスみと・グリーンハウスひたちなか) ③車両処分の報告について(かさまグリーンハウス) 2)監督官庁が実施した検査又は調査の結果及び改正状況について ①令和5年度介護保険施設等運営指導について(グループホームかさま) ②指定障害福祉サービス事業者等の実地指導について(介護センターかさま) ③指定地域密着型サービス事業者等運営指導について(グリーンハウスとちぎ・グリーンハウスやまうち) 3)その他報告が必要と認められる事項 ①グリーンハウスみと本館ナースコール設備およびICT機器整備に係る業者決定について ②水戸市常澄高齢者支援センター運営業務受託の更新について ③ひたちなか市大島中学校区地域包括支援センター運営業務受託の更新について
第151回理事会 R6.7.20(書面) 理事6名	1.決議された事項 1)施設長の任免その他重要な人事(案)について 2)就業規則の一部改正(案)について 3)給与規程の一部改正(案)について
第152回理事会 R6.9.11 理事6名 監事2名	1.決議された事項 1)(仮称)尚生会クリニック 新規開設計画(案)について 2)社会福祉法人 尚生会 定款の一部改正(案)について 3)社会福祉法人 尚生会 経理規程の一部改正(案)について 4)重要な人事(案)について 5)新規事業用不動産の賃貸借契約の締結(案)について 6)社会福祉法人 尚生会 第一次補正予算(案)について 7)拠点区分間長期借入金返済計画(案)について 8)評議員会(第90回)の招集(案)について
第90回評議員会 R6.9.19 評議員7名 監事2名	2.報告事項 1)重要な人事について 2)社会福祉法人 尚生会 経理規程の一部改正について 3)拠点区分間長期借入金返済計画について
第153回理事会 R6.11.14 理事5名 監事2名	1.決議された事項 1)令和6年度 社会福祉法人尚生会 第二次補正予算(案)について 2)長期借入金返済計画(案)について ①拠点区分間 グリーンハウスともべ ②事業区分間 訪問看護ステーショングリーンハウスみと 3)グリーンハウスみと太陽光発電システム設置工事(案)について

第91回評議員会 R6.11.22 評議員7名 監事2名	4)グリーンハウスみと太陽光発電システム設置工事に係る業者選定(案)について 5)就業規則の一部改正(案)について 6)給与規程の一部改正(案)について 7)評議員会(第91回)の招集(案)について 2.報告事項 1)理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告(理事長専決事項について) ①本館ボイラー入替工事の報告について(グリーンハウスみと) ②照明器具更新工事について(グリーンハウスひたちなか、グリーンハウスともべ) ③食器洗乾燥機購入契約の報告について(グリーンハウスひたちなか) ④社会福祉事業者総合保険(賠償責任保険)更新の報告について ⑤防災井戸設置について(かさまグリーンハウス・グリーンハウスみと、グリーンハウスひたちなか) ⑥車輛購入について(法人本部) ⑦寄附金の受け入れについて(法人本部) 2)監督官庁が実施した検査又は調査の結果及び改正状況について ①消防立入検査結果報告について(ケアハウスかさま、グリーンハウスとちぎ、グリーンハウスやまうち) ②実態把握のための事業所訪問の結果について(訪問看護ステーショングリーンハウスみと) ③外部評価結果について(グリーンハウス陣屋) 3)その他報告が必要と認められる事項 ①太陽光発電システム設置工事に係る業者決定について(ケアハウスかさま) ②社会福祉法人尚生会 準職員就業規則の一部改正の報告について ③社会福祉法人尚生会 クリニック整備状況報告について
第154回理事会 R7.2.27 理事6名 監事2名	1.決議された事項 1)社会福祉法人尚生会 役員の退任、候補者の選任、再任及び選定(案)について 2)社会福祉法人尚生会 評議員の退任、候補者の推薦及び再任(案)について 3)社会福祉法人尚生会 評議員選任・解任委員会の委員(職員)の再任(案)について 4)施設長等の任免その他重要な人事(案)について 5)社会福祉法人尚生会 再編計画(案)について ①事業所の移転について 多機能型重症児デイサービスグリーンハウスおおつか/ 訪問看護ステーショングリーンハウスみと/居宅介護支援センターかさまグリーンハウス ②事業所の廃止について 小規模多機能型居宅介護グリーンハウスやまうち 6)尚生会クリニック 新規開設計画変更(案)について 7)グリーン整形外科、グリーンハウスおおつか賃貸契約変更(案)について 8)令和6年度 社会福祉法人尚生会 第三次補正予算(案)について 9)令和7年度 社会福祉法人尚生会 事業計画(案)について 10)令和7年度 社会福祉法人尚生会 予算(案)について 11)社会福祉法人尚生会 役員に対する報酬及び旅費規程の一部改正(案)について 12)社会福祉法人尚生会 就業規則の一部改正(案)について 13)社会福祉法人尚生会 経理規程の一部改正(案)について 14)給食業務委託契約について ①グリーンハウスみと ②グリーンハウスひたちなか 15)評議員会(第92回)の招集(案)について
第92回評議員会 R7.3.7 評議員7名 監事2名	2.報告事項 1)理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告(理事長専決事項について) ①駐車場整備工事の報告について(グリーンハウスみと) ②空調室外機整備の報告について(グリーンハウスひたちなか) ③防犯カメラ設置に係るリース契約の報告について(ケアハウスかさま) ④屋上屋根防水改修工事の報告について(ケアハウスかさま) 2)監督官庁が実施した検査又は調査の結果及び改正状況について

	外部評価結果について(グリーンハウスとちぎ) 3)その他報告が必要と認められる事項 ①太陽光発電システム設置工事に係る業者決定について(グリーンハウスみと) ②建物賃貸契約変更について(旧認知症高齢者グループホームかさまグリーンハウス)
--	---

法人会議

会議	実施回数	内容	会議	実施回数	内容
理事長会議	8	運営状況報告、法人課題兼用	連絡会議	2	目標進捗状況報告
施設長会議	9	規程変更、職員処遇検討	相談員会議	2	相談員間の課題共有と対策検討

法人研修

研修内容	延人数
2年次研修「認知症への理解と虐待防止の重要性について知る」(法人本部)	24
3年次研修「摂食嚥下障害の基礎知識と臨床技術」(グリーンハウスみと)	22
ナース会(年3回)(法人本部)	39
新卒採用者研修(法人本部)	9
法人全体研修「令和7年度運営方針」(オンライン)	270

研修報告

参加者	内 容
水越 千尋	介護現場における生産性向上のための研修会(友部公民館)
北村 多果子	改正育児・介護休業法及び次世代育成支援対策推進法等説明会(オンライン)
水越 千尋	企業人権啓発講演会(サ*ヒロサワ シティ会館)
檜崎 宮子	サイボウズオンラインセミナー
河又 みゆき	社会福祉法人の会計シリーズ(全国障害者総合福祉センター)
水越 千尋	人事・経営戦略のためのダイバーシティ(茨城県立図書館)
河又 みゆき	多様化する新卒採用(水戸市合同庁舎)

苦情解決状況(意見要望を含む) ※令和6年度なし

有資格者数

	社会福祉士	介護支援専門員	介護福祉士	社会福祉主事	看護(正・準)	PT・OT
合計	6	46	147	24	36	8

障害者雇用状況

事業所	人数	事業所	人数	事業所	人数
かさまグリーンハウス	1	グリーンハウスみと	3	グリーンハウスひたちなか	1
ケアハウスかさま	2	グリーンハウス陣屋	2	合計	9

実習生受入れ状況

受入施設	延日数	実習校
グリーンハウスみと	115	筑波大学(医学類)/那珂高校/ 駿優国際医療ビジネス専門学校
グリーンハウスひたちなか	199	茨城キリスト教大学(食物健康科学科)/常磐大学(健康栄養学科) 駿優国際医療ビジネス専門学校/アール医療福祉専門学校
グループホームかさま	10	茨城県立友部特別支援学校

処遇改善加算金等の支給状況

支給日	毎月・月例給与と併せて支給(毎月15日・銀行休業日の場合直前の営業日)			
支給対象事業所	かさま(介護老人福祉施設、認知症対応型通所)/みと(介護老人福祉施設、通所介護) ひたちなか(介護老人福祉施設、認知症対応型通所介護)/ケアハウス(グループホーム、訪問介護) ともべ(通所介護)/とちぎ(グループホーム、訪問入浴、小規模多機能型居宅介護)/陣屋(グループホーム、小規模多機能型居宅介護)のおおつか(多機能型重症児サービス)			
処遇改善加算金	支給延人数	2,881 名	合計支給額	104,254,044 円
特定処遇改善加算金(4月～7月まで)	支給延人数	980 名	合計支給額	11,593,280 円
ベースアップ加算金(4月～7月まで)	支給延人数	979 名	合計支給額	6,514,470 円

支援補助金の支給状況

支給日	毎月・月例給与と併せて支給(毎月15日・銀行休業日の場合直前の営業日)		
支給対象事業所	ケアハウス(軽費老人ホーム)		
支給延人数	24 名	合計支給額	248,000 円

本部地域貢献活動

多目的ホール貸出	エアロビクス・ステップ・ヨガ・ストレッチポール
----------	-------------------------

総括

会計システムFX4を導入して初めて1年間の会計処理を行った。今まで会計・労務が独立して業務にあたっていたが、会計システム使用により、労務でも会計システムに落とし込むことを意識するデータ処理が必要となった。会計側でも、労務から上がる給与や社会保険等に関する理解を深めることで適切な会計処理に繋がる為、担当者間で「どのように処理されるのか」「どういった額の支払なのか」等を確認し合い、相談しながら業務に当たった1年であった。

労務では、人材確保の困難さに併せ、労基等遵守すべき内容が毎年変化する中で、外国人・高齢者・障がい者を含む雇用管理は専門性が必要とされ、会計では、施設整備、新システム導入費用・維持管理費のコスト等々と、介護報酬・診療報酬の収入面のバランスを注視し、先を見据えた収支管理能力が必要とされる。

令和7年度、本部内だけではなく、各拠点長との連携も密なものとし、双方の労務に関する専門性及び収支管理能力を高め合える1年としたい。